

舞台は世界だ!

# Go! Global



2014 KGM  
グローバル人材  
育成プログラム  
レポート Vol.1

**KANTO GAKUIN MUTSUURA  
JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL**

ますます進むグローバル化は、加速するボーダーレス化とも言えます。中高一貫校での6年間は、入学から10年後、さらには20年後の社会を見据えて準備する大切な時と場です。ボーダーレスに向かう社会を早期に意識し体験する学習環境づくり。関東学院六浦は60周年を迎えた今、「幼い想いを道へ.....将来を世界に繋ぐこと」が新たな使命と考えています。

# アメリカ短期研修



本校では夏休みに、4年生以上の希望生徒対象に「USA セミナー・キャリア直結型 夏季短期研修」を実施しています。国際人として、英語を通じて真の国際感覚を身につけ、広い視野から学習や進路について考える力を養いながら、将来設計の構築を目指しています。将来のグローバル人材育成に繋がるプログラムです。

## この研修のポイント

- ★1家庭1人のホームステイで、完全に英語だけで生活ができる環境
- ★スタンフォード大学、カリフォルニア大学デイビス校など、世界トップクラスの大学での研修
- ★事前事後研修（英語研修・異文化研修など）の充実
- ★英語力に加えプレゼンテーション力も向上



第60期卒業  
一柳優心君

第60期卒業の一柳優心君は、現在カリフォルニア州のOrange Coast College (OCC) という2年制の大学に在籍しています。今年度のアメリカ短期研修では、後輩たちのためにサポーターとして参加してきます。6年生（高校3年生）のときにTOEICのスコア930点を取得した憧れの先輩です。そんな一柳君が本校ホームページに寄せたカリフォルニア通信の一部です。（ぜひホームページで全文をご覧ください！）

右も左もわからない状態で始まった1学期でしたが、終わってみるとすごく充実感を感じています。

OCC はアメリカにたくさんある2年制のコミュニティカレッジの一つで、キャンパスや設備など環境も素晴らしく、僕はこのカレッジをすごく気に入っています。何よりも授業がとても楽しい！！英語力にあまり自信のない僕でしたが、特に経済学と心理学の授業は最高でした。つまらなくなりがちな抽象的な概念を説明するときでも、先生がいつも、爆笑してしまうような面白い例を出して説明してくれて、クラスに行くのが楽しみになるような授業でした。その上、授業がとても良い雰囲気でした。先生が質問を投げかけると、すぐに生徒達の手が上がり、わからない所があれば生徒達はすぐに手を挙げて質問をし、教室内はすごく生き生きとしていました。

僕は、今年の11月に編入出願をして、来年の秋からは4年制Universityの3年次へと編入することを目標として、現在OCCで勉強しています。僕の第一志望の大学はカリフォルニア大学パークレー校のビジネス専攻です。人気の学部なので、高い成績や課外活動での実績などが必要とされますが、なんとか編入を成功させたいと思っています。

また引き続き今後のこちらでの様子を定期的にこのブログに掲載させていただきます。読者の皆さまには暖かく見守って頂けたら幸いです。

# 関東学院六浦の海外研修

## UCデイビス研修



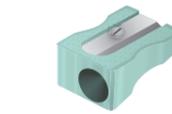
関東学院大学へ院内I期推薦で進学する生徒は、約10日間のカリフォルニア大学デイビス校（UC デイビス）での研修を受けます。英語力・プレゼンテーション力を向上させ、関東学院大学での学びを通して、将来、国際社会で活躍できる人材を育成していきます。この研修に参加する場合は、大学の入学金は免除されます。

## この研修のポイント

- ★大学入学前に世界のトップクラスにあるUC デイビスで研修を受け、モチベーションをあげて大学生活をスタート
- ★基礎からの復習と実用英会話で、英語に対する苦手意識を克服
- ★UC デイビス研修参加者には大学の入学金を免除



関東学院六浦では、様々な海外研修を通して、英語をツールとして社会に貢献することを学び、校訓「人になれ 奉仕せよ」を世界で実践していきます。



5年1組 中林渚織  
(NAKABAYASHI SHIORI)

## オーストラリアターム留学

日本では体験することができない、より実践的な英語コミュニケーション力を身につけるため、約3ヶ月間、オーストラリア南東部メルボルン近郊の私立校へ留学するプログラムです。4年生以上の希望生徒を対象に3学期に実施します。現地校の通常授業に参加し、毎日の生活の中で異文化に触れる体験を重ねていきます。現地講師によるきめ細やかなサポート指導も受けられます。

## この留学のポイント

- ★現地の私立校の通常授業を受けることで、より実践的な英語コミュニケーション力を身につけることができる
- ★1家庭1人のホームステイと、ほぼ日本人のいないクラス環境での授業により、完全に英語だけで生活ができる環境
- ★英検の資格やTOEIC・TOEFLのスコアによる奨学金制度あり
- ★海外大学進学につながるモチベーションアップ（この2年間で、ターム留学参加者3名がオーストラリアのグリフィス大学へ進学）



Hello. I'm Shiori. I'd like to talk about my experiences in foreign countries. There are many learning abroad programs in Kanto Gakuin Mitsuura High School. So I participated in one of the programs. I went to Seattle last summer and I studied at University of Wasington for 3 weeks. I enjoyed the program and had a good time with my host family and my friends. But I needed more. I wanted to talk with more foreigners in English and to brush up my English ability. That's why I decided to learn in

Australia last winter. It was difficult for me to speak to others even though they were my classmate. But I really wanted to communicate with them. So I tried to say "Good Morning" to whomever I met in the morning. A week later, I made a lot of friends! They helped me to lead a happy school life. We are still good friends and send e-mail each other. Some of them came to Japan to see me. Now I love English and I enjoy my school life here in Japan. I recommended that you should join in the programs.

20年前と言えばインターネットが日本の社会に登場した頃です。以来ICTの発展が社会の構造をこれほど大きく変えるとは、その時、皆が想像したでしょうか。20年前、進むグローバル化はどれだけポーターレス化を加速すると予想したでしょうか。

20年前の予想と現実の違いに感じる大きな驚きには焦りも混じります。それは、科学技術力を背景に世界経済を牽引してきた日本が、リーダー的な立場であったがゆえに、逆に、人材育成では大きく後れをとってきたという実態があるからです。アジア諸国では、目覚ましい発展を支える人材の育成で、教育のグローバル化が顕著に進んできました。日本の孤立を感じさせるほどの勢いで、日本政府は教育の視線の内向きとポーターレス社会に対応する人材不足を強く懸念し、グローバル人材育成の急務を叫んでいます。

関東学院六浦は60年を経て今、新たな機軸での教育を課題としました。確かな学力形成は勿論ですが、想像もできない速さで変わる未来社会へ対応する教育環境の整備が重要です。身近にグローバル化を捉えることができるプログラムを合理的に整えます。

入学後10年で社会に巣立ってゆく生徒にとって、在学6年間は大切な時間です。ポーターレスが進む未来の社会に必要な力の芽を、六浦の6年間でしっかりと育みたいと思います。そして、キリスト教による建学の理念を基とする校訓「人になれ 奉仕せよ」をそれぞれが世界で実践できるように、確かな人間教育を展開します。



関東学院六浦  
中学校・高等学校  
校長 黒畑 勝男

10年後、社会に飛び立つために  
そして20年後、社会で活躍するために



2013年度  
UCデイビス研修リーダー  
後藤雄歩



# 海外大学進学

現在、社会全体でグローバル化が叫ばれています。各企業では外国人の採用が進み、英語を社内公用語とする企業もあります。文科省の提言から海外留学を義務付ける大学も増えてきました。高校でもSGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）がスタートしています。

本校でも、在学中の海外研修に加えて、海外大学進学を卒業後の進路のひとつとして生徒たちに強く勧めて行きたいと考えています。今までに進学者の多かったアメリカ、オーストラリアに加えて、アジアの大学への進学も視野に入れていきます。

## Navitas指定校

本校は、大学進学を希望する留学生を対象としてスタートした世界最大規模の高等教育機関ネットワークのひとつであるNavitas から2名の指定校推薦枠をいただいています。Navitas のパスウェイを利用することにより、少人数制のきめ細かい指導とサポートのもと、各大学のDiplomaコースで約1年間学び、2年次に編入することができます。

Navitasによる指定校推薦で進学できる海外大学は以下の大学です。(2014年度)

### Australia



[オーストラリア] 全10大学  
グリフィス大学・マッコーリー大学・ラトロブ大学・アデレード大学 他

### U.S.A.



[アメリカ] 全5大学  
ニューハンプシャー大学・ウエスタンケンタッキー大学・マサチューセッツ大学 他

### Canada



[カナダ] 全2大学  
サイモンフレーザー大学・マニトバ大学

### U.K.



[イギリス] 全6大学  
ハートフォードシャー大学・ブルネル大学・ポーツマス大学 他

# 伸び行くアジア

10年後、20年後を生き抜く若者は何をすべきか

近年、中国、インド、韓国は海外派遣者数を大きく増加させており、減少傾向の日本との差は開く一方です。日本の若者の内向き志向は大きな社会問題となっており、文科省は本格的にグローバル化を推進し始めました。

今の中高生の皆さんが、10年後、20年後の社会で活躍するためには、このアジアの人々と競い合い、そして共存していくことが必要不可欠です。中国語・英語に加えて日本語を使いこなせる彼らに対し、皆さんは何を身につけていきますか。

今こそアジアに目を向けて、アジアの若者たちとともに世界で活躍し、世界に貢献するときです。

関東学院六浦では、10年後、20年後を見据え、アジアでの学びをスタートします。従来のアメリカ、オーストラリアの研修に加え、マレーシアや台湾などアジアでの研修、そしてアジアの大学への進学に取り組んでいきます。

# 2014年度関東学院六浦中高の新たな取り組み

## ① アジアに向けて ～ステージはアジア～

- ・マレーシアや台湾の学校での留学・研修・学生との交流、マレーシアや台湾の大学進学
- ・北京大学進学（北京大学医学部指定校推薦対象校）
- ・タイやカンボジアでのサービスラーニング

## ② ENGLISH LOUNGE オープン

関東六浦校内にある海外ラウンジ内の言語は英語のみ！

## ③ ICT教室 オープン

タブレットを利用した英語教育 スカイプを利用した海外の学生との交流

## ④ 1年生対象 英会話教室開講（今後2年生以上にも展開予定）

放課後の校内英会話教室により、部活動と両立しながら英語コミュニケーション力アップ！



今後、この「Go! Global」で、これらの取り組みについて報告していきます。ご期待ください！

表紙：5年3組 黒川 和(2013年度オーストラリアアタム留学参加)

